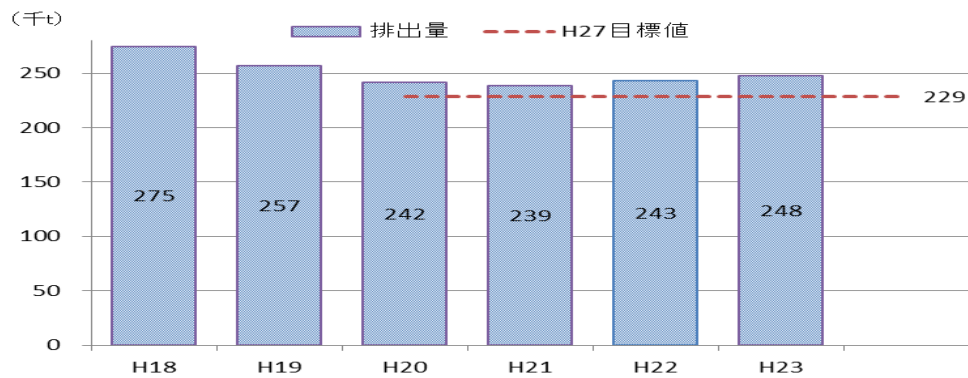


第2期しまね循環型社会推進計画の進捗状況について（平成23年度実績）

（1）一般廃棄物

①排出量の現状



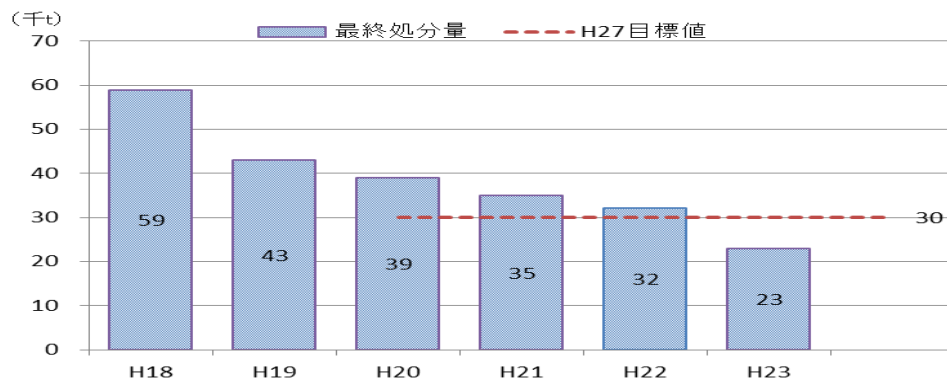
- ・排出量は、平成21年度まで減少傾向だったが、平成22年度から生活系ごみ、事業系ごみいずれも増加した。

②再生利用率の現状



- ・再生利用率の平成22年度から平成23年度の単年度伸び率は、平成18年度以降一番の伸び率となった。
- ・県全体の再生利用量も対前年比1割以上伸びており、これは平成23年度に稼働した松江市一般廃棄物処理施設から回収された溶融スラグが新たに利用されているためである。

③最終処分量の現状



- ・最終処分量が平成22年度から平成23年度にかけて大きく減少しているのは、松江市一般廃棄物処理施設が新たに稼働し、直接埋立及び焼却残渣の量が大きく削減されたためである。

④まとめ

- ・排出量は増えたものの松江市の一般廃棄物処理施設（エコクリーン松江）が、平成23年4月1日から稼働したことなどから、再生利用が進み最終処分量が減少した。
- ・一般廃棄物の発生抑制と再使用・再生利用の促進を図るためには、市町村の実情に合った具体的な削減に向けての取組を市町村と連携・協力しながら進める必要がある。